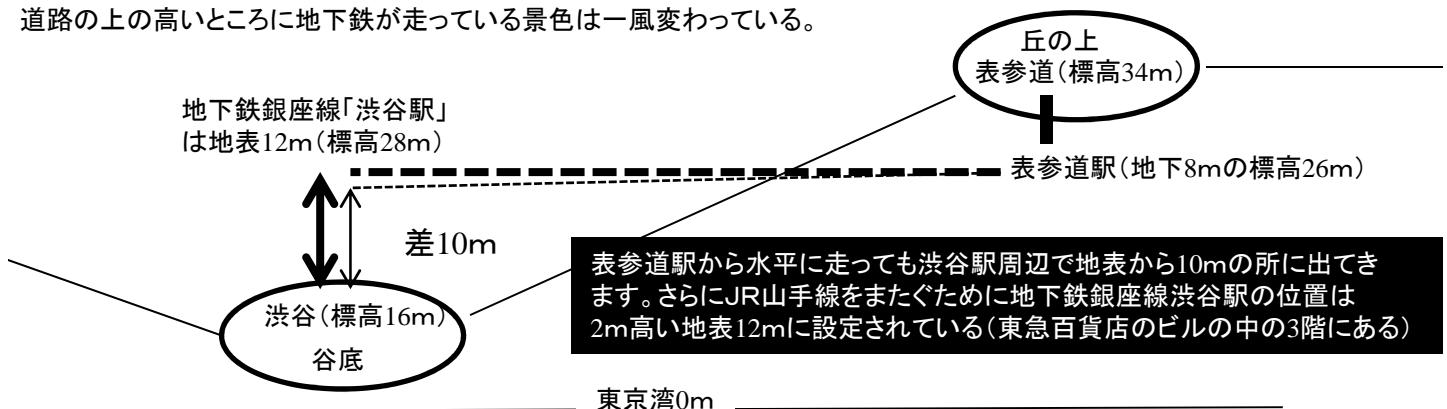


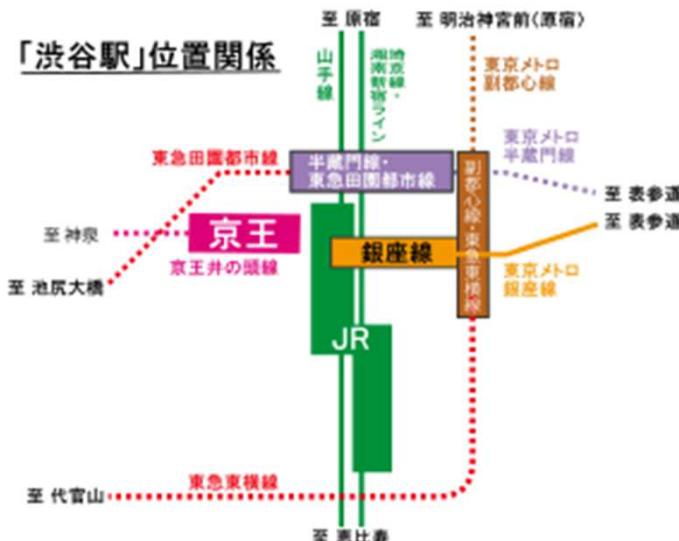
地形のため高所にある地下鉄銀座線「渋谷駅」

2016年12月15日

青山という地名で分かるように丘の上にある表参道駅(標高34m)から渋谷川の浸食によりできた谷底にある渋谷駅(標高16m)にほぼ平坦にでれば現在の地下鉄銀座線の駅(東急百貨店東横店のビルの中の三階にある)の高さになる。道路の上の高いところに地下鉄が走っている景色は一風変わっている。



「渋谷駅」位置関係



東京メトロ(東京地下鉄)は、2016年11月5日～6日および11月19日～20日の計4日間、銀座線の渋谷駅～表参道駅間、青山一丁目駅～溜池山王駅間を終日運休して銀座線 渋谷駅を移設するための線路切り替え工事を行なうが、その初日となる11月5日、工事作業の一部を報道陣に公開した。

現在、渋谷駅のホームは乗車用と降車用に分かれた「相対式」となっているが、ホーム自体を明治通りの上へ約130m移動させることでスペースを確保し、2つの線路がホームを挟む「島式」にする工事を進める。新しいホームの供用開始は、2019年度を予定しており、商業施設である「渋谷ヒカリエ」とも「東口改札」を新設して直接結ぶ予定となっている。

銀座線 渋谷駅のホームを「島式」にして明治通りの上に移動

今回の工事は11月5日、6日、19日、20日の2回の週末、計4日間。渋谷駅～表参道駅間だけでなく、折り返し用設備の関係で青山一丁目～溜池山王間も終日運休にして、渋谷駅手前の2本の線路を南側に移動させるもの。

銀座線 渋谷駅を移設するための線路切り替え工事は、ホームを「島式」にするためのスペースを確保するために明治通り上に移設するほか、場所をJR渋谷駅と渋谷ヒカリエの間にすることで乗り換え利用者の便をよくすることも狙い。

改札口は、JR利用者が同一階で直結する乗り換えコンコースに設けられる西口改札、副都心線などを利用する利用者は、新たに整備されるエレベーターとエスカレーターを備えたヒカリエと直結する東口改札の2カ所。乗り換えのみでなく、行きと帰りで通る改札が同一になることで利便性を向上させる。

また、今まで渋谷駅東口広場と明治通りにある橋脚7基を3基とすることで高架下の空間が広がり、駅前広場の空間拡充と道路交通の円滑化も考慮されている。

前半の5日と6日の工事は、浅草から渋谷に走行する線路を南側に移設するものであり、後半19日と20日に予定されている工事では、前半の工事で空けたスペースに渋谷から浅草に走行する線路を移設する予定である。

新ホームの供用開始は2019年度を予定しており、それまでに今回の新ホーム設置に向けた線路切り替えのほかに、分岐点(ポイント)設置に向けた準備や、ホームの供用開始のための線路切り替え工事を行なう予定とのことだった。